



あき とくべつてん 秋の特別展

しょうわ ねん 昭和100年 おもちゃと暮らしの大博覧会 ～タイムトラベル北九州～

令和8年10月24日(土)～令和9年1月11日(月)

1926年に昭和が始まり、平成・令和と推移して100年が経過しました。本展は「昭和100年」を4つの時期に分け、時代を特徴づけるおもちゃや製品、家事や暮らしの道具に注目して振り返り、いまの私たちの暮らしがどのように形づくられてきたか考える展覧会です。多くの皆様のお越しをお待ちしております。



テレビキャラクターの大型人形
(豊後高田市 駄菓子屋の夢博物館)



電気洗濯機(攪拌式)



講演会やギャラリートークもあるよ。
ホームページで確認してね!

常設展のみ

	一 般	団 体
おとな 大人	600 円	480 円
こう だいせい 高・大生	360 円	280 円
しょう ちゅうせい 小・中生	240 円	190 円

特別展のみ

	一 般	団 体
おとな 大人	800 円	640 円
こう だいせい 高・大生	500 円	400 円
しょう ちゅうせい 小・中生	400 円	320 円

セット券(常設展+特別展)

	一 般	団 体
おとな 大人	1200 円	900 円
こう だいせい 高・大生	800 円	700 円
しょう ちゅうせい 小・中生	600 円	500 円

※ 団体は30名以上のお一人様料金です。学校団体は特別展入場は無料です。

先生、ちょっと聞いて!

博物館とオンライン授業をしませんか?

博物館では、自然史・歴史の展示物を活用して、学校の授業をワンポイントで支援する「ちょこっと博物館」(オンライン授業)を行っています。

- 内容 授業内容に合わせて10～15分程度のオンライン授業
※ 利用する展示物の例 (昔の道具、歴史資料、岩石・鉱物・化石など)
- 接続形態 学校側がホストになり、博物館を招待
- 問い合わせ・申込み まずはお電話ください。(担当 ミュージアムティーチャー)



学習にピッタリの展示物がたくさん!

ミュージアムのタネ



こんちゅう 昆虫のからだのつくり

昆虫の体はいくつもの体節がつながってできており、体が頭・胸・腹の3つの部分に分かれています。身近な生き物のうち、クモやダニなど、「虫」と呼ばれることのある生物と昆虫を見分ける特徴の一つは、この体のつくりです。

また、昆虫には脚が6本あり、あご(口)が外から見える、という特徴を持ちます。さらに、体の外側が硬い構造になっており、これを「外骨格」と呼びます。外骨格があるため、昆虫は大きくなるときに、古い外骨格を脱ぎ捨てる「脱皮」をします。

昆虫の頭には、たとえば眼や触角、大顎などがあります。大顎は食べ物をかむために使われますが、クワガタムシのオスでは武器として使うような形に変化しています。胸には、6本の足があります(小さくなっているなどの理由で、足が6本ないように見えるものもあります)。また、胸の背中側には翅があります(翅をもたない昆虫もあります)。胸の後ろ側には腹があり、翅が腹をおおっていないければ簡単に見ることができますが、カブトムシの仲間などでは、前翅が腹をおおい隠しているため、背中側からは見えません。

なお、6本の足をもつ節足動物は六脚類とよばれ、昆虫のほかに、昆虫ではない6本の足を持つ生き物が含まれています。ただし、昆虫ではないものには、カマアシムシやトビムシなど、非常に小さな生き物が多いため、身近ではあまり知られていません。そのため、「6本の足をもつ=昆虫」と言われることが多いです。とはいえ、こうした分類や特徴は、研究が進むにつれて、さらに見直される可能性があります。今は遺伝子を用いた研究が進んでいますし、遺伝子を含めた情報を解析するコンピュータの計算速度も日々上がっています。皆さんの中から、これまでの考えをひっくり返すような新発見をする人が出てくるかもしれません。



(バッタ)



しぜんしかがくげいん
自然史課学芸員

みのしま ゆうすけ
養島 悠介